

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（968））
2. 日時：平成30年5月21日 18時05分～18時15分
3. 場所：原子力規制庁 8階会議卓

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

矢野審査チーム員、高嶋原子力規制専門員

事業者：

日本原子力発電株式会社：発電管理室 プラント管理グループ 主任

5. 要旨

- (1) 日本原子力発電株式会社から、平成26年5月20日に申請、平成29年1月24日及び平成30年2月13日に一部補正のなされた東海第二発電所の工事計画認可申請について、当該申請書に係る補足説明資料の一部が提出された。
- (2) 原子力規制庁から、事業者の準備が整ったものからヒアリングを進め、必要に応じて指摘を行っていく旨を伝えた。
- (3) 日本原子力発電から、了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

- ・建物・構築物の耐震計算についての補足説明資料 補足-370-2【応力解析におけるモデル化、境界条件及び拘束条件の考え方】
- ・建物・構築物の耐震計算についての補足説明資料 補足-370-4【地震荷重の入力方法】
- ・建物・構築物の耐震計算についての補足説明資料 補足-370-5【中央制御室遮蔽の床スラブの耐震性評価に関する補足説明】
- ・建物・構築物の耐震計算についての補足説明資料 補足-370-8【使用済燃料プールの耐震性評価に関する補足説明】
- ・原子炉格納容器内の原子炉冷却材の漏えいを監視する装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書
- ・安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書（抜粋）
- ・工事計画に係る補足説明資料 安全設備及び重大事故等対処設備が使用される

条件の下における健全性に関する説明書のうち 補足-40-3【環境条件における機器の健全性評価の手法について】（抜粋）

- ・ 工事計画に係る補足説明資料 安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書のうち 補足-40-9【原子炉格納容器内に使用されるテフロン材<sup>®</sup>の事故時環境下における影響について】
- ・ 基準規則で規定される施設・設備の整理
- ・ ほう酸水貯蔵タンクの強度計算書
- ・ 残留熱除去系熱交換器の強度計算書
- ・ 水圧制御ユニット窒素容器の強度計算書
- ・ 水圧制御ユニットアキュムレータの強度計算書